

公社イベント・セミナー開催報告

中小企業ならではのモノづくり・人づくりへの挑戦

平成19年度 第3回城東支社産業セミナー「挑戦する経営～(株)チバダイスにみる勇気ある経営革新～」

去る2月21日、東京都城東地域中小企業振興センターにおいて、公社会員企業である(株)チバダイスの千葉英樹社長によるセミナー「挑戦する経営～(株)チバダイスにみる勇気ある経営革新～」が開催され、モノ作り中小企業の経営者等53名が聴講しました。

■「勇気ある経営大賞」を受賞!

(株)チバダイスは葛飾区に本社を置く、小型歯車加工に特化した業歴40年、社員40名の専門メーカー。金属歯車やプラスチック歯車、歯車金型等を一貫生産で提供するオンリーワン企業として、業界内でも一目置かれている存在である。

昨年、東京商工会議所主催の第5回「勇気ある経営大賞」でみごと大賞を受賞。この他、中小企業庁の「元気なモノ作り中小



チバダイスのユニークな取り組みを披露する
千葉英樹社長

企業300社」に選定され、製品が葛飾ブランド「葛飾町工場物語」の認定を受けるなど、その経営姿勢は日本の中小製造業の目指すべきモデルとして高く評価されている。

■一時は売上が4割減に

そんな同社も、千葉社長が弱冠30歳で父親から代表を引き継いだ後、一時売上が前年比4割減となる苦境を経験した。悩みぬいた挙句、経営理念である「歯車を育む、人を育む」の精神に立ち返り、自社製品開発や産学連携などに取り組み、自社の強みである歯車加工技術を武器に新たな市場を開拓していった。元大学教授を招いて、社内に研究所を設立したユニークな取り組みは、学会や展示会参加による海外への情報発信につながり、本社工場売上の7割を海外メーカーが占めるまでに至っている。

■公社のサポートで「ブランド戦略構築」に着手

「なぜスイスの時計工場は、中小企業でもカッコよく見えるのだろうか?」日頃からそんな疑問を持っていた千葉社長は、昨年、創業40周年を機に“チバダイス”ブランドの更なる進化に着手。公社の東京都知的財産総合センターによるアドバイスを受け、経営戦略まで踏み込んだブランド戦略の再構築に取り組んでいる。その一環として、2008年9月から会社のロゴやイメージカラーを一新し、独自の情報発信や、優れた人材の獲得に活かしていく考えだ。

■社内にフットサルコートや大学も

「人を育む」を大切にする同社では、社内の一体感の醸成や人材育成への取り組みもユニーク。社屋にフットサルコートを整備して、千葉社長自らプレーに参加したり、社内に“チバ大学”を設立し、歯車をテーマに社員有志が専門家から学ぶ機会も設けている。また、定年者を最大の功労者と称える同社では、最後の労を一流ホテルのチャペルで社員全員でねぎらう。このように、同社は、社員の意欲を引き出し、社員を仲間として支え合う組織づくりを行っている。

必ずしも新技術・新製品開発によらない成長戦略や、グローバルな視点での新市場開拓、そして社員全員が成長できる場を作るなど、同社の取り組みは、モノ作り中小企業にとって“勇気ある経営”のヒントとなったに違いない。

◆本セミナーに関する問い合わせ先◆

城東支社 03-5680-4631

<中小企業のブランド戦略構築をサポート!>

“中小企業の皆さまの知的財産部門”である東京都知的財産総合センターは、企業の“経営革新”につながるブランド戦略の構築をお手伝いします。

問い合わせ先

東京都知的財産総合センター

TEL03-3832-3656